

労働者福祉 みやざき

2025

No.586

みやざきの勤労者の
福祉向上を目指す広報誌一般社団法人
宮崎県労働者福祉団体中央会

2025

中央会
新年のあいさつ一般社団法人
宮崎県労働者福祉団体中央会
会長

中原 広幸

新年おめでとうございます。

日ごろから、中央会の活動に對しまして、ご理解とご協力を
いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。今年も中央会は、会員の生活の向上はもとより、すべてのひ
とびとが安心して暮らせる社会をめざし、暮らしにかかわる総
合相談所であるライフサポート事業や、介護職員の養成に向け
た介護職員初任者研修事業など5つの公益事業を、みなさんの
ご協力をいただきながら積極的に取り組むこととしています。また、中央労福協では、現在、高等教育費負担の軽減とし
て授業料の半額や、奨学金返済の負担軽減などを実現させるべ
く、団体賛同署名・個人署名を行っています。これは、
2015年から奨学金制度の改善をめざして取り組んだ給付
型の奨学金制度の拡大を補完するものです。いまなお、大学生の55%が奨学金を受給し、その平均借入額
が、310万円にもなっていること、そして当然のこととして、
卒業後、社会に出た若者の多くがその返済に苦しんでいること
を踏まえ、取り組みであり、誰もが学ぶことができる環境づく
りに向け、みなさまのご協力をお願いいたします。私たちが生きているこの社会は、格差にあふれ、さらに拡大
していると言われていますが、これを打開するためには、支
え合い・助け合いの輪を確実に、職場・地域に根付かせること
が必要です。正月に子どもの成人式に出席する機会があり、希望溢れる
若者たちをみて、安心して暮らせる社会作りを改めて決意し、
今まさに共助の輪を助け、働く者同士の相互扶助と自主独立
の精神のもと、すべての働く人たちの幸福を求めてきた団体と
して、より強く、人と人との繋がりで支え合い、誰一人取り残
さない福祉型社会の創造を積極的に追求していかねばなら
ないと強く感じました。労働者福祉運動の積極的展開により、それをめざすことをお
誓いし、あいさつとします。

今年もよろしく願っています。

2025年 1月

日本労働組合総連合会
宮崎県連合会(連合宮崎)
会長

吉岡 英明

安心社会」の実現に向け努力する一年にして参ります。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日頃より連
合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げ
ます。今年の干支は、巳(みへび)です。正確には乙巳(きのとみ)
の年と言いますが、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展し
ていく」年になると伝えられています。この言葉どおり、多く
の仲間が集い、互いに協力しながら、「働くことを軸とする九州労働金庫
宮崎県本部
本部長

鬼束 善史

このような状況の中、「ろうきん」に寄り添うことができるよう、引き続き努力してまいります。

新年あけましておめでとうございませう。

こくみん共済 coop
宮崎県本部
本部長

中原 和雄

本年「乙巳年」にちなみ、皆さまの成長、そしてご繁栄を心より祈念申し上げ一人でも多く
の方々と深く長い付き合いができるよう努力してまいります。

新年あけましておめでとうございませう。

公益財団法人
宮崎県事業団
理事長

西村 仁

供養の有り方を考える際の選択肢として、是非一度ご相談・見学に起こし下さい。

あけましておめでとうございませう。

(学)みやざき福祉学園
(福)みやざき福祉園
理事長

小川 順平

局面を乗りこえ、創意工夫を図りながら、子ども達が明るく、楽しい
園生活を送れるよう頑張っております。



新年を迎えて



宮崎県知事

河野 俊嗣



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

県民の皆様には、日頃から労働行政はもとより、県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、全国で災害が相次ぎ、本県でも、8月の日向灘を震源とする最大震度6弱の地震、さらには台風第10号による竜巻等の被害や、10月の線状降水帯による土砂災害・浸水被害など、各地で大きな被害が生じました。被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。県といたしましては、引き続き、更なる県土強靱化や地域防災力の向上など、ハード・ソフト一体となった防災対策に万全を期してまいります。

さて、昨年4月から「労働基準法」の改正による時間外労働の上限規制が、これまで猶予されてきた建設業で働く方、自動車運転手、医師についても適用が開始されたところであります。

こうした中、宮崎県労働者福祉団体中央会におかれましては、長きにわたり労働者福祉団体の指導等を通じて労働者福祉の増進に大きく貢献いただいております。心から敬意を表する次第です。県としても、皆様と一体となって働きやすい職場づくりに向けた環境整備等に積極的に取り組んでまいります。

令和7年度は、県総合計画アクションプランの折り返しの年に当たります。

県では、今年度から「3つの日本一挑戦プロジェクト」Ⅱ「子ども・若者「グリーン成長」スポーツ観光」を本格展開しておりますが、今後とも、県民の皆様の声に真摯に耳を傾け、安心と希望、そして活力あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が、貴会及び会員の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶いたします。



2025年 年頭挨拶



労働者福祉中央協議会

会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

日本経済全体が落ち込む中で、光熱費や食品など生活に直結する分野の値上げが続いています。このなかで、2024年の年間出生数は初めて70万人を割り込むことが予想され、最悪のペースで少子化が進行しています。さらには「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するはずの生活保護費も段階的に削られ続けるなど、格差や貧困、社会の分断が深刻化しています。

このような今こそ、私たちは、生活困窮者支援の取り組みや、ライフサポート活動、こども食堂の取り組みなど、地域の様々なネットワークで支え合い助け合う、地域共生社会の構築をめざした取り組みを、力をあわせて進めていかなければなりません。

高等教育の負担を軽減するについては、「すべての人が学べる社会へ高等教育負担軽減プロジェクト」の取り組みに結集し、「団体賛同・個人署名」の取り組みを進めてきました。多くの方々に協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。通常国会では大学等修学支援法の改正が見込まれています。私たちはこれを機に、修学支援制度の対象範囲の拡大など、高等教育の負担軽減をもとめて、取り組みを強化していきます。

また、今年は国連の定めた国際協同組合年です。改めて労働者自主福祉運動や協同組合運動などの共助の輪を広げるとともに、NPOや市民団体などともつながり、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める取り組みを、ともに進めていきたいと思います。

最後になりますが、2030年ビジョンにおいて確認した「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらしを継続可能な社会」を実現するための取り組みを、組織の枠を超えて、労働者自主福祉の取り組みを展開していくことをお誓い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



2025年

労働者福祉事業団体等 仕事始め式を開催!!

(一社)宮崎県労働者福祉団体中央会は、2025年1月6日(月)に九州労働金庫宮崎県本部会議室において、「2025年労働者福祉事業団体等仕事始め式」を開催しました。



仕事始め式の様子



連合宮崎吉岡会長



年頭のあいさつ(中原会長)



開会あいさつ(鬼束副会長)

冒頭、鬼束副会長(九州労働金庫宮崎県本部)の開会挨拶のあと、中原会長より、昨年の能登半島の地震をはじめ、宮崎県内の日向灘を震源とする地震や大雨で被災された皆様へのお見舞いを申し上げるとともに、働く者同士の相互扶助と自主独立の精神のもと、すべての働く人たちの幸福を求め誰一人取り残さない福祉型社会の創造を積極的に行い、決意を込めた挨拶を行いました。また、来賓の連合宮崎会長からは、昨年を上回る春闘での賃上げを勝ち取るという力強い挨拶を受けました。最後に中原副会長(こくみん共済coop宮崎推進本部)の閉会挨拶のあと一本締めで終了しました。



閉会あいさつと一本締め(中原副会長)

2024年度

宮崎県への 要請行動

宮崎中央会は、勤労者の生活と福祉の向上をめざして、労働者福祉中央協議会(中央労福協)に加盟する全国47都道府県の労働者福祉協議会(労福協)とともに、共通する課題や宮崎県内の課題解決のために、毎年、宮崎県および県内各市に対して要請行動を行っています。

宮崎県に対しては、2024年12月20日(月)、中原会長以下中央会二役と立憲民主党・岩切達哉県議会議員とともに、宮崎県河野知事へ要請を行いました。

今年度の要請時のポイントとして、2015年の国連サミットで合意されたSDGs(世界共通の持続可能な開発目標)の重要項目である「貧困の根絶・格差の是正」の取り組みの強化、協同組合支援の強化、連帯経済を促進する協同組合の促進支援として、勤労者福祉運動の育成・支援、大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化(国の被災者生活再建支援制度や宮崎県・市町村災害時安心基金支援機の拡充)、教育の機会均等の強化(奨学金制度の拡充・改善・教育費の負担軽減)、生活困窮者自立支援制度の拡充・体制整備、子ども貧困・虐待対策の強化、ティーン・センターの確立等について要請しました。



河野知事へ要請書を手交する中原会長



要請趣旨説明・假野専務理事

【2024年度】 県内各市への要請行動

宮崎中央会では、2024年12月17日(火)～12月25日(水)にかけて、宮崎県および延岡市・日南市・都城市に対して、中原会長以下中央会三役と立憲民主党、社会民主党、国民民主党の各議員および各ライフサポートセンターのセンター長とともに、以下6点について要請行動を行いました。なお、日向市、西都市、串間市、小林市、えびの市の5市については、2025年の早い時期の実施を予定します。

1. SDGs(持続可能な開発目標)の達成と協同組合の促進・支援
2. 連帯経済を促進する協同組合の促進・支援
3. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
4. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
5. ティーン・センターの実現
6. 安心・信頼できる社会保障の充実

各市の手交式の様子



清山宮崎市長



読谷山延岡市長



高橋日南市長



吉永都城副市長

2024年は、1月1日に能登半島地震が発生し、また、全国各地で地震や台風、豪雨による甚大な被害が生じるなど自然災害が発生した年でした。私たちは常に自然災害と隣り合わせでくらしており、平時においては防災・減災の取り組みが、有事においては助け合い・お互いさまの精神が必要であることが改めて明らかになったといえます。自治体への要請行動を契機として、支える人々を支える行政としての施策の充実・拡充を引き続き求め、協同組合経済の拡大を目指した労働者福祉運動を今後も継続して推進していきます。

連合宮崎

2025

新春旗開き

2025年1月8日(水)宮崎観光ホテルにて、連合宮崎2025年新春旗開きを開催し、約210名の関係者が参加しました。

主催者を代表し吉岡会長が、①労働運動の原点である「助け合い・支え合い」の精神②連合平和4行動③2025春季生活闘争④第27回参議院議員選挙などについて組合員の結束と連携を呼びかけました。ご来賓として、宮崎県知事 河野俊嗣様、

立憲民主党宮崎県総支部連合会代表 渡辺 創様より祝辞をいただきました。また青年委員会による抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



抽選会の様子

最後に、高橋副会長による団結ガンバローで閉会となりました。已年にあやかり、連合運動がより一層、跳躍することができますよう皆さまのご支援をお願いいたします。



国民民主党宮崎県総支部連合会代表 長友慎治様



宮崎県知事 河野俊嗣様



主催者代表挨拶 吉岡会長



立憲民主党宮崎県総支部連合会代表 渡辺 創様



社会民主党宮崎県連合代表 松村秀利様



旗開きの様子

連合宮崎 宮崎市別府町 3-9 労働福祉会館4階
0985-26-4649

2025
年度

連合 愛のキャンパ

応募について

「連合・愛のキャンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界」の実現に向け、社会貢献活動の一環として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

宮崎県内では昨年5団体に助成させていただいています。今年も3月31日まで募集を行っています。応募要領は下記のQRコードを検索ください。問い合わせございましたら0985-26-4649までお気軽にご連絡下さい。



愛のキャンパ助成式

掲載場所

連合ホームページ⇒主な活動⇒7つの絆⇒「連合・愛のキャンパ」



◎2024年度 連合・愛のキャンパ 宮崎県内の助成団体——
○NPO法人フードバンク日向 ○宮崎・高校生平和活動支援センター ○NPO法人子どもの森
○NPO法人ぼくちへおいでよ ○きらくえんカフェ

連合 愛のキャンパ

多岐にわたる分野・団体への支援活動に役立てられています。
＜2024年：中央助成7団体・地域助成43団体＞

大規模災害などの救援・支援活動	戦争や紛争による難民救済などの活動	人権救済活動
地球環境保全活動	障がいのある人たちの活動	教育・文化などの子どもの健全育成活動
医療や福祉などの活動	地域コミュニティ活動（シニア・若年層・高齢者等）	生活困窮者自立支援活動

中央助成

- 特定非営利活動法人映画製作で働く女性を守る会
映画製作で働く女性たちの労働環境改善活動
- 特定非営利活動法人アキハバ・KOBÉ
シニア世代の生活や文化活動などの支援活動
- ソ連による日本人捕虜・抑留被害者支援・記録センター
ソ連捕虜被害者への支援活動

地域助成

- 特定非営利活動法人あかほなスマイルキッズ
安心して暮らすことのできる地域づくり活動
- 特定非営利活動法人Aikurumi稲門・IMAJJOの郷
子育て支援センター・保育園・障がい児に寄り添った活動
- NPO法人美善心
障がい児・者の生活支援活動

2024年度福祉事業団等役職員研修会を開催しました。

2024年11月9日(土)、九州労働金庫宮崎県本部3階会議室において、90名の参加のもと開催しました。

福祉事業団等役職員研修会については、労働運動・労働者自主福祉運動の理念・歴史を学び、それを担う者として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造をめざすことを目的に2017年度より開催しています。

冒頭、主催者を代表して中原会長が挨拶し、その後、二つの講演が行われました。



中央会中原会長



山本講師

講演Ⅰについては、中央労働協講師団講師の山本幸司氏より「歴史的分岐点に立つ世界と日本！時代に向き合い労金・労済の原点・歴史に学び、地域・職場で労働者自主福祉運動の推進を！」持続可能な暮らしと社会のために「志高く、労働運動を前進させよう」をテーマでしたが、「我々はこういう時代を生きているのか」を考えさせられ、根源的危機の時代にある中で、歴史に学ぶ大切さと運動を継承していくことが重要だということを実感させられた講演でした。

講演Ⅱについては、(公財)沖縄県労働



岡野講師

者福祉基金協会
常務理事・岡野
みゆき氏による
「沖縄県労働協の
取り組み」「働く」を軸に社会課

題の解決に挑戦し続ける！「つなぐ・つなげる・共創」考動「みんなが力を合わせる」と解決に向かう！と題して、前職では労働組合の役員を経験してきたこと、沖縄県労働協と関わるキッカケや、現在取り組みまれている事業の内容等についての講演でした。講演の中で、沖縄県労働協が特に大切にしていることは「困っている人を見て見ぬふりをしない！できることをやろう」「社会的に必要とされながら、行政でも、民間でもできない分野を担う！」「行政や経営者団体、NPO、様々な団体と連携のとれる立ち位置を活かす」というスタンスで、あらゆる困難ごとに対処している取り組みを行っていることに驚かされた講演でした。

最後に、鬼束副会長(九州労働金庫宮崎県本部長)の閉会あいさつを受け、研修会を終了しました。

次年度についても、開催目的に沿った研修会を開催していくこととします。



研修会の様子

九州ろうきん Presents 九州七県 リゾートキャンペーン

期 間

2025年1月15日(水) ▶ 3月31日(月)

内 容

抽選で **100** 名様に当たる!!

1等	JTBトラベルギフト	10万円相当	10名様
2等	JTBトラベルギフト	5万円相当	20名様
3等	JTBトラベルギフト	1万円相当	70名様



対 象

キャンペーン期間中に九州ろうきん営業店で
定期預金(100万円以上かつ預入期間1年以上)をお預入れ
いただいた個人のお客さま ※応募は預入金額「100万円」につき「1口」(最大20口)となります。



Webからの応募は
コチラ!



※キャンペーン期間中に(九州ろうきん)でお取引いただいた方が対象となります。また、抽選日までに中途解約された場合、抽選権が失効する場合があります。 ※本キャンペーンへのご応募は、キャンペーンチラシ下部の「応募券」を九州ろうきん営業店へご提出、または、二次元コードを読みとりWebアンケートを回答いただくことで完了となります。なお、ご記入いただいた個人情報は、本キャンペーンの抽選およびご連絡にのみ使用し、第3者へ提供することはありません。 ※応募はお一人さま最大20口となります。 ※抽選は次の日程で行い、当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。【抽選・発表】2025年4月 ※本キャンペーンの主催は(九州ろうきん)です。 ※くわしくは、お近くの九州ろうきん営業店でご確認ください。

つながる あした、ひろがる みらい

九州ろうきんは、労働金庫法に基づき設立された勤労者のための福祉金融機関です。

●宮崎支店 (0985)26-9200 ●延岡支店 (0982)35-6655 ●日南支店 (0987)23-3191 ●宮崎県庁支店 (0985)29-4141
●都城支店 (0986)23-2737 ●小林支店 (0984)23-1000 ●高鍋支店 (0983)23-0740 ●日向支店 (0982)52-6131
●西都支店 (0983)43-1212 ●高千穂支店 (0982)72-6111 ●宮崎市役所出張所 (0985)26-3906

お問い合わせ先 九州ろうきん お客さまサービス室

専用フリーダイヤル

0120-796-210

受付時間/平日 9:00~17:00

2024 年末講演会を開催しました！



中原会長あいさつ

お招きし「今、甦る…忘れられた偉人 賀川豊彦～“つながり”と“支え合い”のイノベーション～」と題して、約2時間にわたり講演をいただきました。

講演では、まず、「①戦前、日本人として世界で二番目に有名だったのはHIROHITOでした。では一番有名だったのは誰でしょう？」「②明治で一番売れた本は、福沢諭吉の『学問のすゝめ』、戦後最大のベストセラー作家は黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』、平成は村上春樹『1Q84』。大正時代は？」「③戦後の政治改革において、GHQ首脳部が当初進めようとした案は〇〇大統領と大山郁夫首班内閣でした。」「④日本人最初のノーベル文学賞は川端康成が受賞しました。では、



伊丹教授

最初に公式のノーベル文学賞候補(nominee finalist)になったのは誰でしょう？」というクイズがあり、全て「賀川豊彦」だという話から始まりました。

そして、賀川豊彦の活動が紹介され、「1909年に神戸の貧しい人々が多く暮らす街(スラム街)に移り住み『スラム街の聖者』と呼ばれていたこと」、「『救貧から防貧へ』をスローガンに労働運動、農民運動などを牽引してきたこと」、「1923年の関東大震災で義援金を集めたことや生活に苦しむ人たちのために信用組合を設立したこと」、「神戸購買組合の創設、1951年には日本生活協同組合連合会の初代会長への就任等、生涯にわたり教会・平和・協同組合の仕事をし、そこにはいつも弱者の側に立つという姿勢が貫かれ、『利益より人間尊重の社会を』という精神を説き、休むことなく平和な社会の実現を目指して働き続けたこと」などの講演でした。

アンケートでは、「私は賀川豊彦という人物をほとんど知らなかったが、100年も前から現代にも深く関係するような思想、活動を実践し、連帯社会を目指した偉人であることを知り、とても有意義でした。現在



会場の様子①

の労福協運動の礎となった歴史やこれからのあり方について知ることができた。」「労働者福祉運動として賀川豊彦氏のことは知っていたが、基礎編から応用編まで詳しく講演いただいたことで、知識・理解が深まりました。労働運動の源流やあり方など学びになりました。明日からの運動、実践に活かしていきたいと思いました。」「賀川豊彦さんの共助精神が、今私達が行っている労働組合の軸になり、原動力になって、私たちの生活を支えているありがたみを感じ、それを引き継いでいかなければと思いました。」「福祉はひとつ。私たちにとって改めて学ぶべき内容だったと思います。今私達の周りに、当たり前にあるあらゆる仕組み、組織が、賀川豊彦の共助の精神により生み出されたものだとして初めて知りました。与えるだけではなく、誰かの状況に身を投げ入れることから始まるのだと学びましたが、そういった想いで取り組んでいきたいと思います。」「等々、今後の自らの取り組みや考え方に活かしていきたいとするたくさんの声をいただきました。講演会に参加し、一人ひとりができることから実践していくことが、持続可能な社会へと繋がっていくことだと思います。

宮崎中央会では、今後も福祉事業団体・労働団体および広範な勤労者の労働者福祉の向上を図る観点で、年末講演会を開催していきます。



会場の様子②

ライフサポートセンター延岡・都城で講演会を開催しました!

中央会では、公益目的事業の一環として例年年末に開催している講演会について、2022年度よりライフサポートセンター延岡および都城においても開催しています。

今年度の講師については、フリーパーソナリティ・鑑定士の柿塚日加里さんをお招きし、人生を明るく元気に生きるためのヒント「笑顔と言葉でポジティブに! 明るい脳で運氣アップ!」と題し講演をいただきました。開催日と参加者数については、以下のとおりです。

■ライフサポートセンター延岡、2024年11月8日(金)、
延岡市カルチャープラザハーモニーホール(50名参加)

■ライフサポートセンター都城、2024年11月14日(木)、
都城市ホテル中山荘(50名参加)

両地区とも冒頭の主催者代表挨拶では、ライフサポートセンターの事業について、「相談員が常駐し、相談内容を踏まえて弁護士・司法書士・ファイナンシャルプランナーなどへの紹介もさせていただき相談は無料です。今日、雇用不安や生活不安も蔓延し、どの世代においてもそれぞれ尽きない悩みが横たわり、世代間に連鎖もしており、こうした状況の中にあって、労働者福祉運動の一翼にライフサポートセンターがあることを知っていただき、遠慮なくご利用していただきたい。また相談したい方・お困りの方がいらっしゃれば、ラ

イフサポートセンターの紹介をお願いします。」と挨拶しました。

講演は、最近、職場や家庭で中々コミュニケーションがとれず、人間関係がうまくいかないという方もいます。そうした時に、自らがどう行動することでコミュニケーションがとれ相談に乗ってあげられるのかというところを知る良い機会になった講演でした。

宮崎中央会では、今後も延岡・都城地区において、福祉事業団体・労働団体および広範な勤労者の労働者福祉の向上を図る観点で、講演会を開催していくこととします。

【講師紹介(プロフィール)】

■柿塚 日加里 (かきつか ひかり) 氏
宮崎放送で8年間番組を担当した後、エフエム宮崎開局から31年間ラジオパーソナリティを勤める。
その間講演活動や司会の仕事にも従事し、披露宴の司会件数は5500組に達しました。
顔相手相・四柱推命・パームリーディングアドバイザーの資格も取得し鑑定士の仕事も継続中。
著書『新郎新婦入場です』



こくみん Life サポート 生活設計サポート

こくみん共済 NEWS
coop 4524Z001

組合員特典価格などで**もしもの事前・事後**や**生活全般**をサポート

人・家・車の保障分野における事前の備え・事後のフォロー、生活全般までトータルにサポートする約18万種類のお役立ちサービスを組合員特典価格などでお得にご利用いただけます。

就職・結婚・住宅購入・退職などさまざまなライフイベントをサポートします!

たとえば
こんなサービスや
特典があります

住まいの修理
リフォーム

カーメンテナンス

毎日のヘルスケア

グルメ・
レジャー優待

ライフイベントで
使えるサービス



公式キャラクター
ビットくん

ご利用はアプリから!

こくみん共済の
公式アプリ

NEW

2023年5月
リリース



こくみん Lifeサポートや共済金のご請求など、いつでもどこでもアプリから、より便利にご利用できます! 社会活動への参加やお役立ちコンテンツも!

※ご契約内容や所属している団体によってご利用いただけない場合があります。

①こくみん Lifeサポート ご利用にあたって

- ・WEBサイト(PC・スマートフォン)からもご利用いただけます。
- ・一部、ご契約の団体によってご利用できない場合があります。

②こくみん Lifeサポート 生活設計サポート・こくみん共済 coop 公式アプリのご利用における注意事項

- ・こくみん共済 coop の組合員の方がマイページへご登録・ログインいただくことでご利用できます。マイページは公式アプリ・WEBサイトからご登録いただけます。
- ・各メニューのサービス内容、会員特典などは予告なく変更する場合がございます。

こくみん共済
coop

宮崎推進本部
(宮崎県共済生活協同組合)

連載コラム

未来余話

ファイナンシャルプランナー
年金アドバイザー
小川 洋一

離婚による年金分割制度ができた当時は、熟年離婚が増加していたため、制度開始で急増するとの見方もありました。ところが年金分割が始まったのに離婚件数は言われたほど増えませんでした。

分割でもらえる年金額を試算してもらったら、その額では離婚すると生活が成り立たないことが明らかになったこと、それが離婚への歯止めになっている要因の一つのようです。

夫は定年を迎え、ようやく妻と一緒に時間が増えると楽しみにしている一方で、それを「恐怖」だと考える妻も多くいます。職場で部下に命令する習慣をそのまま家庭に持ち込む夫と、仕事もしていないのに、なぜ夫が家事をやらないのか理解しかねる妻との意識のギャップは、想像以上に大きいものがあるといわれます。夫が妻と一緒に旅行や趣味をと思ってても、妻の方はすでに旅行や趣味仲間とのスケジュールでいっぱいという話。逆に、仕事を理由に自由を謳歌していた夫が、定年後、妻の干渉が強まることでストレスを感じた話などよく聞きます。

いのであれば、在職から夫婦の意識ギャップを作らない努力が必要です。夫婦で退職後もできる趣味を持つことや、夫も家事の能力を身に付けておくべきです。お互い干渉しないような納得できるルールを作って、うまくやっていくという選択肢があります。

65歳以上の人が誰と暮らしているかを見ると、「ひとり暮らし」や「夫婦のみ」が増えていると同時に、「配偶者のいない子どもと同居」も増えています。都市部に住んでいる人が多いので、子どもが仕事のために家を出ていく必要性が低くなっていることや、子どもの数が減っていることで、一人ぐらゐ家に残っているで、一人が話し相手になって安心だと考える面もあります。さらに子どもが安定した職を得られないケースもあり、結婚せずに親元にとどまる子どもが増えています。親子が自立しながら適度な交流を持って楽しく暮らすことは、お互いの健康にプラスかもしれないし、光熱費などが節約できる環境負担の少ない暮らし方かもしれません。家賃や食費として月々親に支払うように決めるなど、お互いが依存しすぎない関係を構築する努力が必要です。

新年の挨拶



ライフサポートセンター宮崎

新年あけましておめでとうございます。相談員として4年目を迎えます。これも皆様のご協力あつての事、心から感謝申し上げます。人口減少による労働力不足、多重債務、医療・介護と複雑な問題が絡み、地域の相談機関における連携の重要性が年々高まってきております。地域住民が安心して利用できる相談窓口を目指し、今年度より新しい相談員を迎え2名体制で相談に応じていく所存でございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ライフサポートセンター都城

新年おめでとうございます。昨年は急激な物価上昇による生活不安が私たち生活者にとって大変な一年でありました。それに伴い、身近な暮らしの不安に関する相談も増えつつあるように感じます。より一層寄り添いの気持ちを持ちながら、一人一人の声に耳を傾けていくことが大切であると感じております。相談してよかったと思っていただけるよう、気持ちを新たに本年も取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ライフサポートセンター延岡

あけましておめでとうございます。昨年はライフサポートセンターへのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。日々感じていることですが、相談業務は大変難しいですが、しかし喜びもあります。相談者の方から、「助かった」とお礼を言われた時、そんな時は相談員冥利に尽きると思います。ただし、相談に掛ける時間は長くなります。それは、法律で解決される内容以外の心情的な部分があるからです。法律相談では中々時間がとれないため、そこを補っていくのが私たちの役割だと思っています。今後も、相談者の気持ちに真の意味で寄り添って行きたいと思っています。

宮崎県商工観光労働部

雇用労働政策課

からのお知らせ

宮崎県とろうきんの提携融資制度 ハッピーライフローンのご案内

県では、中小企業にお勤めの方の生活安定と福祉の向上を目的として、低利率の融資制度を設けています。

県内に1年以上居住し、かつ県内の同一中小企業に1年以上お勤めされているなどの申込条件を満たす方であれば、九州労働金庫を通じてご利用いただけます。くわしくは、九州労働金庫ホームページ、または、九州労働金庫宮崎県内営業店にてご確認ください。

項目	教育資金	生活資金
年率(固定金利)	1.2%	2.0%
限度額	500万円	100万円
返済期間	10年以内(最長4年の元金据置可)	5年以内

※融資には九州労働金庫の審査があります。また、別途保証料がかかります。



詳細は県 HP ↑

県内の九州労働金庫各支店の窓口で受け付けています。

- ・ローンセンター宮崎 (0985)26-9207
- ・宮崎県庁支店 (0985)29-4141
- ・高鍋支店 (0983)23-0740
- ・高千穂支店 (0982)72-6111
- ・延岡支店【融資部門】 (0982)35-6657
- ・都城支店【融資部門】 (0986)23-2257
- ・日向支店 (0982)52-6131
- ・宮崎市役所出張所 (0985)26-3906
- ・日南支店 (0987)23-3191
- ・小林支店 (0984)23-1000
- ・西都支店 (0983)43-1212

左記以外の支店については、九州労働金庫ホームページ → を御覧ください。

